



平野部の農業用水路や小河川に比較的多く集生息する。本県では普通種。全長：約8cm

コイ科 タモロコ属

【全長】10cm

タモロコ

学名：*Gnathopogon elongatus elongatus*

分布域

関東地方以南の本州・四国・九州に分布する。

生息域

河川の中流～下流域、湖沼・池・水路など広く生息する。



平野部の河川や水路に広く生息する。

体形は背面・腹面とも丸味を帯びずんぐりする。吻は丸く、口髭は1対でやや長い。体側中央に1本の太い縦条が走る。体色は灰褐色で背面側が緑色を帯びる。成熟すると暗褐色に変化する。縦条は幼魚期が明瞭で成熟すると頭部側がやや不明瞭となる。食性は雑食性で水生昆虫や底生動物・水草などを食べる。産卵期は春～初夏。細流で水草や流木などに粘着卵を産み付ける。1年で成熟する。寿命は飼育下で3年以上、最大10cm前後になる。自然界でも複数年生きるものと思われる。

水槽での飼育は容易。比較的丈夫で水槽の環境や餌の配合飼料に慣れる。性格は温和で他種との混泳にも問題はない。

在来種

純淡水魚

※ 福井県内では生息地・生息数とも比較的多く普通種といえる。また、地域的な変異の大きい種で、体の移動には問題がある。安易な移殖・放流は避けたい。